

S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数シリーズの メソドロジー

2023年8月

この資料は翻訳版です。原文（英語版）と内容の相違がある場合は英語版の内容をご参照下さい。英語版は www.spglobal.com/spdji よりご覧いただけます。

目次

はじめに	3
指数の目的	3
指数ファミリー	3
補足資料	3
適格性基準及び指数構築	5
指数ユニバース	5
事業活動に基づく指数からの除外	5
複数のシェア・クラス	6
構成銘柄の選択	6
構成銘柄のウェイト付け	6
指数の計算	6
指数の維持	7
リバランス	7
追加及び除外	7
コーポレート・アクション	7
計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ	7
基準日と過去履歴の入手可能性	8
指数データ	9
計算されるリターンのタイプ	9
指数委員会	10
指数方針	11
発表	11
プロフォーマ・ファイル	11
休日のスケジュール	11
リバランス	11
予定外の市場の閉鎖	11
再計算の方針	11
お問い合わせ先	12
指数データの配信	13
ティッカー	13

指数データ	14
ウェブサイト	14
附属資料 – メソドロジ-の変更	15
S&P Dow Jones Indices 免責事項	16
パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ	16
知的財産権/免責条項	17
ESG 指数の免責事項	19

はじめに

指数の目的

S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数シリーズの各指数は、それぞれの原指数の中で化石燃料の確認埋蔵量を所有していない企業、または回収確率が 50%以上の推定埋蔵量を所有していない企業のパフォーマンスを測定します。各指数は浮動株調整後時価総額（FMC）で加重されます。

指数ファミリー

S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数シリーズは以下の指数で構成されています。

1. S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数
2. S&P アジア 50 化石燃料備蓄フリー指数
3. S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 化石燃料備蓄フリー指数
4. S&P 欧州 350 化石燃料備蓄フリー指数
5. S&P 500 化石燃料備蓄フリー指数
6. S&P ラテンアメリカ 40 化石燃料備蓄フリー指数
7. S&P/TSX 60 化石燃料備蓄フリー指数¹
8. S&P/TOPIX 150 化石燃料備蓄フリー指数

補足資料

このメソドロジーは、補足資料と併せて読まれることを意図しています。補足資料では、ここに記載されている方針、手順、及び計算に関するより詳しい説明を提供しています。このメソドロジー全体を通して、特定のテーマに関連する補足資料を紹介していますので、詳細についてはそちらをご覧ください。このメソドロジーの主な補足資料や、それらの資料のハイパーリンクのリストは以下の通りです。

補足資料	URL
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)	株価指数方針及び実務メソドロジー
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)	指数算出メソドロジー
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの浮動株調整メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Float Adjustment Methodology)	浮動株調整メソドロジー

このメソドロジーは、このメソドロジー資料により管理される各指数に対する投資家の関心を測定するとの上記の目的を達成するために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発したものです。指数が継続的に目的を達成するように、このメソドロジーに対する変更やこのメソドロジーからの逸脱は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス独自の判断と裁量によって行われます。

¹ S&P/TSX 60 化石燃料備蓄フリー指数の詳細については、www.spglobal.com/spdji に対応する方法論を参照してください。

ASX、ALL ORDINARIESはASX Operations Pty Ltd.の商標であり、これを利用するライセンスがS&P Dow Jones Indicesに付与されています。

TSXは、TSX, Inc.の商標であり、その使用ライセンスはS&P Dow Jones Indicesに許諾されています。

TOPIXは、東京証券取引所の商標であり、その使用ライセンスはS&P Dow Jones Indicesに許諾されています。

適格性基準及び指数構築

指数ユニバース

各リバランス時点で、各指数は、以下の通り原指数の構成銘柄により構築されます。

指数	原指数
S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数	S&P グローバル 1200
S&P アジア 50 化石燃料備蓄フリー指数	S&P アジア 50
S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 化石燃料備蓄フリー指数	S&P/ASX オール・オーストラリアン 50
S&P 500 化石燃料備蓄フリー指数	S&P 500
S&P 欧州 350 化石燃料備蓄フリー指数	S&P 欧州 350
S&P ラテンアメリカ 40 化石燃料備蓄フリー指数	S&P ラテンアメリカ 40
S&P/TOPIX 150 化石燃料備蓄フリー指数	S&P/TOPIX 150

原指数に関する詳細については、それぞれの指数メソドロジーを参照ください (www.spglobal.com/spdji)。

事業活動に基づく指数からの除外

Trucost の判断基準	Trucost の判断基準の説明	Trucost の判断基準 プロキシ	S&P DJI レベルの 判断の基 準
一般炭	その企業が一般炭（発電のために使用される石炭 - 「電力用炭」としても知られている）の確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）の両方を保有している。	2P 化石燃料埋蔵量 ² （百万トン/ 百万バレル/10 億立方 フィート/石油換算で 百万バレル）	>0
「その他」（非冶金用）の石炭	その企業が、その他全ての非原料炭、または化学副産物、石炭製練炭、住宅用途、液体燃料、セメント生産、製紙、医薬品、アルミナ精製、フェロクロム、無煙炭などの用途向けの一般炭の使用のために使われる確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有している。これには、一般炭または原料炭のいずれの用途かについては明確に開示されていない全ての石炭埋蔵量が含まれる。		
在来型石油及び非在来型石油	その企業が、従来型石油（原油）または非在来型石油の確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有している。非在来型石油には液化天然ガス（NGL）、オイルサンド、コンデンセート、及び液化石油ガス（LPG）などが含まれる。		
天然ガス	その企業が、天然ガス（メタンを主成分とする自然発生の炭化水素ガスの混合物）の確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有している。		
シェールガス	その企業が、シェールガス（地下の岩石（一般的には頁岩、タイトシルト岩石灰岩、ドロマイトなど）に閉じ込められたガスの確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有している。		
「その他」の石油・ガス	その企業が、石油及び（または）ガスの確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有しているが、特定種類の石油またはガスとして明確に開示されておらず、あるいは石油及びガスの埋蔵量を合計した1つの集合体として開示されている。		

リバランス時点で、スピンオフされた企業には権利落ち日時点のそれぞれの親会社の除外指定が割り当てられ、Trucost がスピンオフされた企業自体を評価するまで、それらの指定が維持されます。スピンオフを除いて、Trucost のカバレッジのない企業は、当該カバレッジを受け取るまで指数採用には不適格となります。

² 2P（確認埋蔵量と推定埋蔵量）とは、資源を回収できる確率が 50%以上の水準にある埋蔵量を指します。

Trucost のメソドロジーに関する詳細については、[ここ](#)を参照ください。

複数のシェア・クラス

上場している全ての複数シェア・クラス・ラインは、適格性基準を満たしている限り、指数への採用に適格です。複数シェア・クラスの取り扱いに関する詳細については、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)** の複数シェアクラス・セクション内のアプローチ A を参照ください。**S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数シリーズ**では、全ての複数シェア・クラスに対して同一の化石燃料埋蔵量が割り当てられます。

構成銘柄の選択

各リバランス時点で、それぞれの指数ユニバースの全ての適格企業が選択され、各指数が構成されます。

構成銘柄のウェイト付け

各リバランス時点で、各指数は浮動株調整後時価総額 (FMC) で加重されます。

指数の計算

これらの指数は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**の全ての株価指数で使用されている除数メソドロジーの手法により計算されます。

指数計算に関する詳細については、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)** の時価総額加重指数 (Market Capitalization Weighted Indices) のセクションを参照ください。

指数の維持

リバランス

各指数は四半期ごとにリバランスされ、3月、6月、9月、及び12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。リバランス参照日はそれぞれ2月、5月、8月、及び11月の第3金曜日の取引終了後です。

構成銘柄の株数及び浮動株修正係数（IWF）の変更は、リバランス・プロセスの一環として四半期ごとに適用されます。

追加及び除外

追加： スピンオフを除いて、指数への追加は通常、リバランス時のみとなります。スピンオフされた企業は、配当権利落ち日の前日の終値をゼロとして、親会社が構成銘柄である全ての指数に追加されます（除数の調整はなし）。スピンオフされた企業が原指数に残る場合、対応する化石燃料備蓄フリー指数にも残ります。スピンオフされた企業が少なくとも1営業日後に原指数から除外された場合（除数の調整はあり）、対応する化石燃料備蓄フリー指数からも除外されます。

スピンオフの取り扱いに関する一般情報については、「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)**」を参照ください。

除外： 指数の構成銘柄は、買収、合併、上場廃止、破産、無期限の取引停止の後、またはそれぞれの原指数から除外された場合、指数からも除外されることがあります。指数からの除外が行われた場合でも、次のリバランスまで銘柄の入れ替えが行われることはありません。

さらに、原指数及びそれぞれの化石燃料備蓄フリー指数の両方の構成銘柄である企業が、同じ原指数の中で化石燃料埋蔵量の保有を理由に化石燃料備蓄フリー指数から現在除外されている別の構成銘柄を買収した場合、その買収企業は、コーポレート・アクションの有効日に化石燃料備蓄フリー指数から除外されます。

コーポレート・アクション

各指数は、コーポレート・アクションの取り扱いに関してそれぞれの原指数のメソドロジー及び管理手順に従っています。指数への追加は通常、四半期ごとのリバランス時にのみ行われます。

原指数のコーポレート・アクションの取り扱いに関する詳細については、www.spglobal.com/spdji で入手可能な各原指数のそれぞれのメソドロジー資料を参照ください。

コーポレート・アクションの取り扱いに関する一般情報については、「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)**」を参照ください。

計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ

各指数は米ドルで計算されます。

さらに、S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 化石燃料備蓄フリー指数及び S&P 欧州 350 化石燃料備蓄フリー指数については、それぞれオーストラリアドル及びユーロでも計算されており、S&P/TOPIX 150 化石燃料備蓄フリー指数については日本円でも計算されます。

外国為替レートは WMR のロンドン時間午後 4 時のレートが適用され、これらの指数の計算に使用されます。仲値は LSEG のデータに基づいて WMR が計算し、LSEG のページに表示されます。

このメソドロジーに詳述されている指数に加え、これらの指数の追加のリターン・シリーズ・バージョンが利用可能な場合もあります。利用可能なバージョンには、以下の通貨バージョン、通貨ヘッジ・バージョン、減衰バージョン、公正価値バージョン、インバース・バージョン、レバレッジド・バージョン、及びリスク・コントロール・バージョンなどが含まれます（ただし、これらに限定されない）。利用可能な指数のリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

様々な指数の計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology) を参照ください。

特定タイプの指数 (減衰指数、ダイナミック・ヘッジ指数、公正価値指数、及びリスク・コントロール指数など) を算出するために必要なインプットについては、www.spglobal.com/spdji で入手可能なパラメータ資料を参照ください。

基準日と過去履歴の入手可能性

指数の過去履歴の入手可能性、基準日、及び基準価値は以下の表の通りです。

指数	算出開始日	最初の評価日	基準日	基準価値
S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数	08/28/2015	12/30/2011	12/30/2011	1000
S&P アジア 50 化石燃料備蓄フリー指数	08/28/2015	12/30/2011	12/30/2011	1000
S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 化石燃料備蓄フリー指数	08/28/2015	12/30/2011	12/30/2011	1000
S&P 欧州 350 化石燃料備蓄フリー指数	08/28/2015	12/30/2011	12/30/2011	1000
S&P 500 化石燃料備蓄フリー指数	08/28/2015	12/30/2011	12/30/2011	1000
S&P ラテンアメリカ 40 化石燃料備蓄フリー指数	08/28/2015	12/30/2011	12/30/2011	1000
S&P/TOPIX 150 化石燃料備蓄フリー指数	02/01/2016	12/30/2011	12/30/2011	1000

指数データ

計算されるリターンタイプ

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは、定期的な現金配当の取り扱いが異なる複数のリターン・タイプの指数を計算しています。定期的な現金配当の分類は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが決定します。

- 価格リターン (PR) バージョンは、定期的な現金配当の調整を行わずに計算される。
- グロス・トータル・リターン (TR) バージョンは、源泉税を考慮せずに、配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資する。
- ネット・トータル・リターン (NTR) バージョンは、可能な場合、源泉税を控除した後に配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資する。

配当落ち日に定期的な現金配当がない場合、3つの指数の日々のパフォーマンスは同一となります。

指数の詳細なリストについては、日々の指数値ファイル（以下、「.SDL」という）を参照ください。

定期的な現金配当と特別現金配当の分類や、ネット・リターンの計算で使用される税率に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「*株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Procedures Methodology)*」を参照ください。

リターン・タイプの計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「*指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)*」を参照ください。

指数ガバナンス

指数委員会

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会がこの指数を維持しています。指数委員会は定期的に会合を開きます。指数委員会の全ての委員は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社の常勤社員です。指数委員会は各会議において、指数構成銘柄に影響を与える可能性のある未解決のコーポレート・アクションや、指数の構成銘柄と市場を比較する統計値、指数への追加候補と見なされる企業、重大な市場イベントなどをレビューする場合があります。さらに、指数委員会は、企業の選択、配当の取り扱い、株数、またはその他の事柄に関するルールをカバーしている指数方針を見直す場合があります。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数の変更や、潜在的に市場に影響を及ぼす可能性のある重要な関連事項に関する情報を考慮します。したがって、指数委員会の協議内容は全て非公開となります

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会は、必要があれば、メソドロジーを適用する際に例外を設ける権利を留保します。本資料や補足資料に記載されている一般的なルールと異なる取り扱いを行う場合、お客様は可能なときはいつでも十分な通知を受け取ります。

指数の日々のガバナンスや指数メソドロジーの維持に加え、指数委員会は 12 ヶ月間に少なくとも 1 回、メソドロジーをレビューすることで、記載されている目標を指数が引き続き達成し、データやメソドロジーが依然として有効であることを確保します。場合によって、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは相談を実施し、外部当事者からのコメントを要請することがあります。

メソドロジーの品質保証及び内部レビューに関する詳細については、「*S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)*」を参照ください。

指数方針

発表

全ての指数構成銘柄は、指数値やリターン計算に必要なデータのために毎日評価されます。毎日の指数算出に影響を与える全てのイベントは通常、「指数コーポレート・イベント・レポート (.SDE)」を通じて事前に公表され、全ての顧客に発信されます。また、コーポレート・アクションに対する通常と異なる取り扱いや、イベントに関する緊急連絡については、必要に応じて電子メールで顧客に送達されます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの発表に関する詳細については、「発表方針 (Announcement Policy)」を参照ください。

プロフォーマ・ファイル

コーポレート・イベント・レポート (.SDE) に加えて、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、リバランスごとに各指数について、構成銘柄のプロフォーマ (事前予想) ・ファイルを提供します。プロフォーマ・ファイルは通常、リバランス日の前に日々提供され、その中には、リバランスにおいて有効となる全ての構成銘柄に加え、そのウェイト及び指数組入株式数が収録されています。指数組入株式数はリバランスの前の株価に基づいて割り当てられるため、市場の動きにより、リバランス時点の各銘柄の実際のウェイトはこれらのウェイトとは異なります。

リバランスの予定やプロフォーマの提供予定など正確なスケジュールについては、www.spglobal.com/spdji をご覧ください。

休日のスケジュール

指数は、指数構成銘柄が上場している取引所の全てが正式に休業している日を除き、暦年を通じて毎日計算されます。

年間の休日スケジュールについては、弊社ウェブサイト www.spglobal.com/spdji を参照ください。

リバランス

指数委員会は、予定されたリバランス日やその前後に生じる市場の休日などの理由により所定のリバランス日を変更する場合があります。かかる変更は、可能であれば適切な事前通知を以て発表されます。

予定外の市場の閉鎖

予定外の市場の閉鎖に関する情報については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

再計算の方針

再計算の方針に関する情報については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

計算及びプライシングの中断、専門家の判断、データ階層に関する情報については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」資料を参照ください。

お問い合わせ先

指数に関するご質問については、index_services@spglobal.com にお問い合わせください。

指数データの配信

指数値のデータは S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト、www.spglobal.com/spdji、主要なデータ配信ベンダー（以下のコードを参照）、投資関連のウェブサイト、ならびに数々の紙・電子メディア媒体より入手可能です。

ティッカー

以下の表は、本資料がカバーしているヘッドライン指数のリストです。以下の各指数の全てのバージョンも、本資料がカバーしています。本資料がカバーしている指数の完全なリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

指数 (通貨)	リターン・タイプ	BBG
S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数 (米ドル)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPGF3UP SPGF3UT SPGF3UN
S&P アジア 50 化石燃料備蓄フリー指数 (米ドル)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPA5F3UP SPA5F3UT SPA5F3UN
S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 化石燃料備蓄フリー指数 (米ドル)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPX5F3UP SPX5F3UT SPX5F3UN
S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 化石燃料備蓄フリー指数 (オーストラリアドル)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPX5F3AP SPX5F3AT SPX5F3AN
S&P 欧州 350 化石燃料備蓄フリー指数 (米ドル)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPEF3UP SPEF3UT SPEF3UN
S&P 欧州 350 化石燃料備蓄フリー指数 (ユーロ)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPEF3EP SPEF3ET SPEF3EN
S&P 500 化石燃料備蓄フリー指数 (米ドル)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SP5F3UP SP5F3UT SP5F3UN
S&P ラテンアメリカ 40 化石燃料備蓄フリー指数 (米ドル)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPL4F3UP SPL4F3UT SPL4F3UN
S&P/TOPIX 150 化石燃料備蓄フリー指数 (米ドル)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SP15F3UP SP15F3UT SP15F3UN
S&P/TOPIX 150 化石燃料備蓄フリー指数 (日本円)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SP15F3YP SP15F3YT SP15F3YN

指数データ

日次の構成銘柄や指数値のデータについては、申込みにより取得可能です。

商品の詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの www.spglobal.com/spdji/en/contact-us にお問い合わせください。

S&P/TOPIX 150 化石燃料備蓄フリー指数の指数データの配信に関する情報については、www.spglobal.com/spdji で入手可能なメソドロジー資料を参照ください。

ウェブサイト

詳しくは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト www.spglobal.com/spdji を参照ください。

付属資料－メソドロジーの変更

2015年1月1日以降のメソドロジーの変更は以下の通りです。

変更	有効日（以下の日付の取引終了後）	変更前	メソドロジー 変更後
除外スクリーニング・データの情報源	2020年6月19日	SAMは除外データの情報源です。	Trucostは除外データの情報源です。
四半期ごとの除外スクリーニングの範囲	2020年6月19日	FFR 除外スクリーニングは毎年1回、6月の四半期ごとのリバランスの一環として指数ユニバース全体に対して実施されます。3月、9月、及び12月の四半期ごとのリバランスに関しては、ユニバースの追加だけがFFR 除外スクリーニングの対象となります。	FFR 除外スクリーニングは、四半期ごとのリバランスの一環として指数ユニバース全体に対して実施されます。
除外 - MSA オーバーレイの適用除外	2019年12月20日	SAMのMSAにより警告が出ている構成銘柄についても、指数委員会が対象となっている企業を指数採用の資格がないと判断した場合、指数から除外されることがあります。	--
リバランス間における除外の取り扱い	2016年9月16日	環境破壊に関与している企業がリバランス間に指数から除外されることはありません。	SAMが、環境メディア及び利害関係者分析(MSA)のケースとして取り上げた企業は、指数委員会に諮られ、指数から即時除外するかどうか決定されます。除外される場合、対象となっている構成銘柄は、次のリバランスから1年間にわたり指数に再採用される資格がなくなります。
スピンオフの取り扱い	2015年10月1日	スピンオフされた銘柄が指数に追加され、市場価格が入手可能な場合、その株価が使用されます。市場価格が入手できない場合、スピンオフの条件に基づく理論価格が使用されます。株価は、親会社の株価から（スピンオフされた企業の株価/株式交換比率）を差し引いた株価に調整されます。指数組入株式数は、その会社のウェイトがスピンオフの前と同じになるように変更されます。	スピンオフされた企業は、配当権利落ち日の前日の終値をゼロとして、親会社が構成銘柄である全ての指数に追加されます（除数の調整はなし）。スピンオフされた企業が親ユニバース指数に残る場合、対応する化石燃料備蓄フリー指数にも残ります。ただし、化石燃料埋蔵量の保有を理由に親会社が化石燃料備蓄フリー指数から現在除外されていないことが条件となります。スピンオフされた企業が少なくとも1営業日後に親ユニバース指数から除外された場合（除数の調整はあり）、または化石燃料埋蔵量の保有を理由に親会社が化石燃料備蓄フリー指数から現在除外されている場合、対応する化石燃料備蓄フリー指数からも除外されます。

S&P Dow Jones Indices 免責事項

パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ

S&P Dow Jones Indicesは、透明性を提供することにより顧客を支援するために、様々な日付を定義しています。初回評価日は、所定の指数の（現実またはバックテストの）計算値が存在する最初の日です。基準日とは、所定の指数が計算のために固定値で設定されている日付を指します。ローンチ日とは、所定の指数の価値が最初に現実と見なされる日付を指します。指数のローンチ日より前の任意の日付または期間に提供された指数値は、バックテストされたものと見なされます。S&P Dow Jones Indicesでは、ローンチ日につき、例えばS&P Dow Jones Indicesの公開ウェブサイトまたは外部当事者に対するそのデータフィードを介して、指数の価値が一般公表されたことが知られる日付と定義しています。2013年5月31日より前に導入されたDow Jonesブランドの指数については、ローンチ日（2013年5月31日より前は「導入日」と呼ばれていた）は、指数の一般公表日より前には認められていた可能性があるものの、指数メソドロジーに対するそれ以上の変更が認められなくなった日に設定されています。

指数のリバランスの方法とタイミング、追加及び削除の基準、ならびに全ての指数計算など、指数の詳細については、当該指数のメソドロジーを参照してください。

指数のローンチ日より前に提示された情報は全て、仮説に基づく（バックテストされた）ものであって、実際のパフォーマンスではありません。バックテスト計算は、指数のローンチ日に有効だったメソドロジーと同じ方法に基づいています。ただし、市場が異常を示した期間など、全体的な最新市場環境を反映していない期間を対象に、バックテストされた履歴を作成する場合には、十分に大きな同じ性質の証券を把握するために、指数メソドロジールールを緩和してもかまいません。それにより、その指数で測定することを意図した対象市場、またはその指数で把握することを意図した戦略のシミュレーションを行うことができます。例えば、市場時価総額と流動性の限界を引き下げることができます。さらに、S&P 暗号通貨指数のバックテスト・データに関しては、フォーク（ブロックチェーンの分岐）の影響が考慮されていません。S&P 暗号通貨トップ5イコール・ウェイト指数及びS&P 暗号通貨トップ10イコール・ウェイト指数については、メソドロジーのカストディ要素が考慮されておらず、バックテストの過去履歴は、ローンチ日時点においてカストディ要素の要件を満たす指数構成銘柄に基づいています。また、指数管理の決定を正確に複製することは困難であるため、バックテストされたパフォーマンスにおけるコーポレート・アクションの取り扱い、実在する指数に対するコーポレート・アクションの取り扱いと異なる場合があります。バックテストされたパフォーマンスは、指数のメソドロジーに加えて、事後的な情報やパフォーマンスによる影響を与えた可能性がある要因についての知識に基づく構成銘柄の選定を反映したものであり、結果に影響を及ぼしうる全ての財務リスクを考慮したものではなく、生存者バイアス/先読みバイアスが含まれていると見なすことも可能です。実際のリターンは、バックテストされたリターンとは大きく異なり、これよりも少ないものとなる場合があります。過去のパフォーマンスは将来の成績を示唆または保証するものではありません。

一般にS&P DJIでは、バックテストされた指数データを作成する際に、構成銘柄の実際の過去データ（過去の株価、時価総額、及び企業活動に関するデータ等）を使用します。ESG投資はまだ開発の初期段階にあるため、S&P DJIのESG関連インデックスを作成するために使用される一部のデータポイントは、過去のデータをバックテストしたい対象期間全体にわたり入手できない場合があります。データの利用可能性に関するこの問題は、他の指数にも当てはまります。対象となる全ての過去の期間に対して実際のデータが入手できない場合、S&P DJIでは、ESGデータの「バックワード・データ・アサンプション」（または、引き戻し）と呼ばれるプロセスを通じて、バックテストされた過去のパフォーマンスを算定する場合があります。「バックワード・データ・アサンプション」とは、当該指数の構成銘柄につき、指数のパフォーマンスを算定するために用いる過去のデータ全てに、入手可能な実際のデータポイントのうち最も過去のものを用いるプロセスを指します。例えばバックワード・データ・アサンプションでは、その前提として、特定の業務活動（「製品関与」と呼ぶ場合もある）を現在行っていない企業は過去においてもかかる業務活動を行ったことがないと想定し、同様に、現在特定の業務活動を行っている企業は過去においてもかかる活動を行っていたと想定します。バックワード・データ・アサンプションは、実際のデータのみを使用

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス：S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数シリーズのメソドロジー 16

する場合よりも長期にわたる過去の期間を対象として、仮説的なバックテストを可能にするものです。「バックワード・データ・アサンプション」について詳しく知りたい場合は、FAQをご覧ください。バックテストされた過去のパフォーマンスにつき、バックワード・データ・アサンプションを採用している指数では、そのメソドロジー及びファクトシートにおいてその旨を明記します。かかるメソドロジーには、遡及的にデータが適用された箇所における具体的なデータポイント及び当該の時期を示す表が記載された別紙が含まれます。

表示される指数の収益率は、投資資産/証券の実際の取引結果を表しません。S&P Dow Jones Indicesは、指数を維持し、提示または議論された指数のレベルとパフォーマンスを算出しますが、実際の資産を管理してはいません。指数の収益率は、指数のパフォーマンスを追跡するよう意図された、指数または投資ファンドの基礎となる、投資家が証券を購入するために支払う販売手数料や料金の支払いを反映していません。これらの料金や手数料が課されることで、証券/ファンドの実際及びバックテストのパフォーマンスは、提示される指数パフォーマンスよりも低くなる可能性があります。簡単な例としては、10万米ドルの投資に指数が12ヶ月間に10%の収益率（つまり1万米ドル）を上げ、投資に経過利息を加えた金額に1.5%の実際の資産ベースの手数料（つまり1,650米ドル）が課されると、1年間の純収益率は8.35%（つまり8,350米ドル）になります。3年間にわたり、年10%の収益率で、年末に年1.5%の手数料を徴収されると想定すると、結果的に累積総収益率は33.10%、合計手数料は5,375米ドル、及び累積純収益率は27.2%（つまり2万7,200米ドル）になります。

知的財産権/免責条項

© 2024 S&P Dow Jones Indices. 無断複写・転載を禁じます。S&P, S&P 500, SPX, SPY, The 500, US 500, US 30, S&P 100, S&P COMPOSITE 1500, S&P 400, S&P MIDCAP 400, S&P 600, S&P SMALLCAP 600, S&P GIVI, GLOBAL TITANS, DIVIDEND ARISTOCRATS, Select Sector, S&P MAESTRO, S&P PRISM, S&P STRIDE, GICS, SPIVA, SPDR, INDEXOLOGY, iTraxx, iBoxx, ABX, ADBI, CDX, CMBX, MBX, MCDX, PRIMEX, HHPI, 及び SOVX は、S&P Global, Inc. (以下、「S&P Global」という) またはその関係会社の登録商標です。DOW JONES, DJIA, THE DOW, 及び DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の商標です。これらの商標は、その他と一緒に S&P Dow Jones Indices LLC にライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLC の書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P DJI が必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P DJI が提供する全ての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P DJI は、第三者にその指数をライセンス供与すること、及びカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものでもありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P DJI は、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P DJI は、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P DJI は投資顧問会社、商品投資顧問業者、受託者、「プロモーター」(1940年投資会社法(改訂)において定義されている)、または「エキスパート」(合衆国法典第15編第77条(15 U.S.C. § 77k)内に列挙されている)ではなく、また S&P DJI はかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはありません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。S&P DJI は税金の顧問会社ではありません。指数に証券が含まれることは、S&P DJI がかかる証券、コモディティ、暗号通貨、またはその他の資産の売り、買い、またはホルドの推奨を意味するものではなく、投資または取引のアドバイスとして見なしてはなりません。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容(指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーションまたはそれからのアウトプット)またはそのいかなる部分(「内容」)も、S&P DJIによる事前の書面による承認なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容は、違法または未許可の目的で使用してはなりません。S&P DJI及びその第三者データプロバイダーな S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス : S&P グローバル 1200 化石燃料備蓄フリー指数シリーズのメソドロジー 17

らびにライセンサー(総称して「S&P Dow Jones Indices当事者」)は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。S&P Dow Jones Indices当事者は、理由に関係なく、内容の利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。S&P DOW JONES INDICES当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。S&P Dow Jones Indices当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含むがこれに限定されない)、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

信用関連の情報、及び格付け、リサーチ及び評価を含むその他の分析は、一般に、ライセンサー及び/または S&P Global Market Intelligence といった S&P Global のその他の部門を含むがこれに限定されない、S&P Dow Jones Indices の関連会社によって提供されています。信用関連の情報ならびに内容の中のその他の関連分析及び発言は、表明された日時点での意見の記述であり、事実を記述したものではありません。いかなる意見、分析及び格付承認決定も、証券を購入、保有または売却するため、または投資決定を行うための推奨ではなく、いかなる証券の適合性について言及するものではありません。S&P Dow Jones Indices は、いかなる形態または形式でも、公表後に内容を更新する義務を負いません。投資またはその他のビジネス上の決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、また利用者、その経営陣、従業員、顧問及び/または顧客のスキル、判断及び経験またそれらの代わりとなるものでもありません。S&P Dow Jones Indices LLC は、受託者または投資顧問会社としては行動しません。S&P Dow Jones Indices は、信頼できると確信する情報源から情報を取得するものの、S&P Dow Jones Indices は、受領する情報の監査を行ったり、デューディリジェンスや独立した検証の義務を負ったりしません。S&P DJI は、規制またはその他の理由により、いつでも指数を変更または中止する権利を留保します。様々な要因(S&P DJI が管理できない外部要因を含む)により、指数の大幅な変更が必要となる場合があります。

規制機関が格付機関に対して、特定の規制目的で別の法域で発行された格付けをある法域で承認することを認める範囲で、S&P Global Ratings は、いつでもその単独の判断で、かかる承認を割当、撤回または停止する権利を留保します。S&P Dow Jones Indices は、S&P Global Ratings を含め、承認の割当、撤回または停止から生じるいかなる義務も、またその理由で被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も否認します。S&P Dow Jones Indices LLC の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その格付け及び特定の信用関連の分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社もしくは債務者から報酬を受ける場合があります。かかる S&P Dow Jones Indices の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その意見及び分析を普及させる権利を留保します。S&P Global Ratings からの公開格付け及び分析は、そのウェブサイト、www.standardandpoors.com (無料)及び www.ratingsdirect.com と www.globalcreditportal.com (購読)で利用でき、S&P Global Ratings の出版物及び第三者再配布業者を通じた場合を含め、その他の方法で配布される場合があります。当社の格付け料金についての追加の情報は、www.standardandpoors.com/usratingsfees から入手できます。

S&P Global は、その様々な部門及び事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、S&P Global の特定の部門及び事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。S&P Global は、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために、方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P Dow Jones Indicesは、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供しており、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する必要がある証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。

一部の指数では世界産業分類基準(GICS®)を使用しています。これは、S&P GlobalとMSCIによって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。MSCI、S&P DJI、及びGICS分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類(またはそれを利用することで得られる結果)に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者は全て、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性の全ての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、MSCI、S&P DJI、その関連会社またはGICS分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害(逸失利益を含む)について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P Dow Jones Indicesの商品は、それらの商品が提供される契約の条件により管理されています。S&P Dow Jones Indices及び(または)指数データを使用する、これに基づいている、及び(または)これを参照する商品あるいはサービスを表示する、そこから派生するデリバティブ商品を組成する、及び(または)配布するには、S&P Dow Jones Indicesからライセンスを取得する必要があります。

ESG 指数の免責事項

S&P DJIIは、特定の環境・社会・ガバナンス(ESG)指標、または以下のような指標の組み合わせに基づいて(ただし、これらに限定されない)、指数構成銘柄の選択、除外、及び(または)ウェイト設定を行います:環境指標(天然資源の効率的利用、廃棄物の生産、温室効果ガス排出量、または生物多様性への影響など)、社会指標(不平等及び人材投資など)、ガバナンス指標(健全な経営陣の構成、従業員との関係、従業員の報酬、税務コンプライアンス、人権尊重、汚職防止、及び贈賄防止など)、特定の持続可能性または価値観に関連する企業の関与指標(例えば、非人道的兵器、タバコ製品、燃料炭の製造/販売など)、または論争的となる問題のモニタリング(ESG関連事件に関与する企業を特定するための報道機関のリサーチを含む)。

S&P DJIのESG指数では、指数構成銘柄の選択及び(または)ウェイト付けにおいてESG指標やESGスコアを使用しています。ESGスコアまたは格付けでは、環境、社会、及びコーポレート・ガバナンスの問題に関する企業あるいは資産のパフォーマンスを測定・評価することに努めています。

S&P DJIのESG指数で使用されるESGスコア、格付け、及びその他のデータは、サードパーティにより直接的または間接的に提供されています(これらのサードパーティは、S&P グローバルの独立した関連会社である場合もあれば、無関係の事業体である場合もある)。したがって、S&P DJIのESG指数がESG要因を反映できるかどうかについては、これらのサードパーティが提供するデータの正確性や入手可能性に左右されます。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、報告される(つまり、データが企業または資産により開示されたものとして提供されている、または公に入手可能なものとして提供されている)、モデル化される(つまり、データがプロキシのみを使用して作成され、独自のモデル化プロセスを使用して導き出されている)、または報告・モデル化される(つまり、データが報告されたデータとモデル化されたデータの組み合わせであるか、または独自のスコアリングや決定プロセスにおいて報告されたデータ/情報を使用してベンダーから導き出されるかのいずれかである)場合があります。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、外部及び(または)内部の情報源から提供されるかを問わず、定性的評価及び判断的評価に基づいています。特に、明確に定義された市場基準が存在しない場合には、独自の判断を行う必要があります。これは、ESG要因や検討事項を評価する上で複数のアプローチやメソドロジーが存在するためです。したがって、ESGスコア、格付け、またはその他のデータには、主観的な要素や裁量的な要素が含まれています。ESGスコアリング、格付け、及びデータソースが異なれば、ESGの評価手法や推定メソドロジーも異なる場合があります。また、特定の企業、資産、または指数の持続可能性やインパクト(社会・環境への影響)に関しては、関与する人(ESGデータの格付けプロバイダーまたはスコアリングのプロバイダー、指数のアドミニストレーター、あるいはユーザーを含む)が異なれば、最終的な結論も異なる場合があります。

指数が、サードパーティにより直接的または間接的に提供されるESGスコア、格付け、またはその他のデータを使用している場合、S&P DJIIは当該ESGスコア、格付け、またはデータの完全性や正確性について責任を負いません。「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、または同等に分類されるその他の目的を決定するための単一の明確かつ決定的なテストや枠組み(法的、規制の、またはその他)は存在しません。明確に定義された市場基準がない場合、または数多くのアプローチが存在することにより、独自の判断を行う必要があります。したがって、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的に関して、関与する人が異なれば、同じ投資、商品、及び戦略について異なる分類が行われる場合があります。さらに、新たな規制及び業界の規則やガイダンスが発行され、ESGサステナブル・ファイナンスの枠組みがアップデートされている中で、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的を構成するものに関する法的及び(または)市場の見解は、時間の経過とともに変化する可能性があります。

S&P DJIのESG指数のユーザーは、指数メソドロジーや開示情報を注意深く読み、その指数が使用事例や投資目的に合致しているかどうかを判断することが推奨されます。